

## SSH 生徒研究発表会 in 神戸国際展示場 8.9~8.10

今年度も無事にスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が、兵庫県神戸市の国際展示場、8月9日と10日に行われました。全国のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている高校での生徒研究を発表する場であり、柏崎高校からも3年生理系2コース選択者の研究班から物理の研究班1つが参加しました。

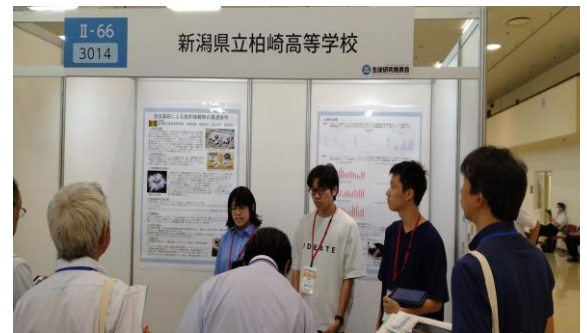
柏崎高校代表 参加研究班

【テーマ】

簡易霧箱における放射線の最適条件

【班メンバー】

・相澤悠貴 ・飯田悠斗 ・金子京乎 ・渡辺直心



(↑発表会に参加した生徒)

高校物理の最後に詳しく取り上げる放射線であるが、ここ柏崎市は世界最大級の発電量を生み出す（現在は稼働していない）柏崎・刈羽原子力発電所が近くにあることもあり、放射線に興味、関心を持った4人が、1学年3学期から課題研究で放射線関連について研究したいと、テーマ決めにまず取り組みました。その後、自然放射線の存在を可視化できる霧箱の存在を知り、その中でも授業でも比較的簡単に取り扱えるパイレックスガラスとドライアイス、エタノールがあれば、自然放射線の $\alpha$ 線や $\beta$ 線の飛跡を見ることができる簡易霧箱を使って、その放射線観察の最適条件について追究してみよう！ということになり、3年7月末まで研究、実験した内容について、ポスター発表をして来ました。全国の高校生や教員、発表会の審査員の先生が発表ブースに次々と来て、発表を聞き、質問、貴重な提言などして下さいました。今回新型コロナウイルス感染症拡大防止措置が緩和されたことにより、発表参加生徒数の制限はなくなりましたが、1名残念ながら当日参加できず、3名での参加となりました。行けなかった生徒の分も、学校を代表して精一杯発表してくれました。

## SDGs 佐渡島サイエンスツアー 7.29~7.30



7/29 (土) 講演 (30分×4) 分野別サイエンストーク 交流会

7/30(日) 佐渡島サイエンスバスツアー

平根崎 波食甌穴群・化石観察 新潟大学差痔自然共生センター  
 佐渡金山青盤脈の露天掘り採掘跡 京町めぐり、北沢浮遊選鉱場跡 加茂湖散策

2年生6名が参加しました。最先端の科学に触れたり、佐渡の歴史を感じたりすることが出来、非常に良い経験となりました。写真は、分野別サイエンストークでの様子です。